

愛媛県地域両立支援推進チーム会議 (7/29)
愛媛産業保健総合支援センターにおける治療と仕事の両立支援活動について

〈事業所に対して〉

1. アンケートの実施

(1) 健康経営優良企業認定へアンケートの実施

松山市内の38事業所に対して両立支援の取り組み状況に関するアンケートを実施した。

- ⇒ ・返答があったのは21事業所(回答率約55%)
- ・そのうち両立支援の取り組みをしている事業所は14カ所(約66%)

(2) その他労働者100人以上の事業所へアンケートの実施

労働局の資料と一緒に約450カ所(100人以上の事業所)へ郵送して頂いた。
(締め切り7/31)

- ⇒ ・現時点で返信があったのは70事業所(回答率約15%)
- ・事業所内で両立支援に取り組んでいると返答のあった事業所は全部で55カ所(71%)、先程の健康経営優良企業と比べ割合が高い。(大企業は比較的両立支援できている)
- ・詳細については今後集計、分析予定である。

2. アンケート後のフォロー

(1) アンケート回答があった全ての事業所に、周知資料を郵送した。

(2) 直接訪問

・今までの訪問件数

コロナのため4～5月は会社訪問できず、6月から開始し現時点で17事業所を訪問した。各事業所の両立支援実施状況について確認後、当センターの事業内容に説明し、周知資料をお渡ししている。

▶ 事業所を訪問してみても

○ 試し出勤制度や時間単位の有給休暇など両立支援に役立つ就業規則を取り入れている事業所は少ないが、その中で各々が臨機応変に対応している。柔軟に働ける就労環境を実現するためには、休暇制度等の充実だけでなく、相談窓口の明確化、相談しやすい環境・風土作り、がん等疾患の正しい知識の普及、社外へ両立支援を推進している会社であるとアピールをすることが非常に有効であると説明している。

○ 産業医の取り組み状況によって、企業の両立支援体制が大きく異なる。今後も継続して、産業医への両立支援事業に対する指導・支援が必要である。
当センターのセミナーでは両立支援に関する講演もしており、より多くの産業医の方に参加して頂きたく、今後Webセミナー開催も検討している。現状、平日の昼間の開催であり仕事を抜け出しておの出席が困難であること、またコロナ禍のため少人数制としており1セミナー約15名程度。また東京や北海道といった遠方から愛媛に受講しに来

ている産業医の方もいるため、感染面も非常に心配である。しかし Web セミナーにした場合、認定産業医研修として単位を取得できるかどうか等、検討していく必要がある。
(石川・高知県ではサテライト会場開催を実施している)

〈 県内の病院に対して 〉

〈 目 標 〉

- ・今年度中に愛媛県立中央病院に両立支援相談窓口を開設する。その他の病院についても順次、両立支援相談窓口の開設に向け調整を図っていく。
- ・愛媛県内各がん拠点病院のスタッフの方々へ、院内の両立支援活動の取組方法について周知活動を行う。

〈 最近の取組内容 〉

1. 病院訪問状況等

(1) 愛媛県立中央病院

- ・8月には相談窓口を設置する予定である。
- ・医療現場における両立支援の取り組み方について動画を作成し、院内全員が視聴できるように配信して頂いた。その動画は当センターホームページにも掲載予定。

(2) その他の病院

- ・各病院へ訪問し地域医療連携室やがん相談支援センターへ両立支援活動について説明し、またアンケートの実施、両立に関する資料を配布した。
- ・両立支援に関するセミナーを各病院で Web 中継、開催できるよう検討中である。また今後愛媛労災病院さんと連携して、各病院でセミナー開催等もできればと考えている。

2. 愛媛県がん対策推進委員会 愛媛県がん相談専門部会への参加

上記専門部会(7/9 WEB 会議)にオブザーバーとして参加し、県内がん拠点病院の患者相談の担当者の方に対して、両立支援に関する講義を実施した。

〈 そ の 他 〉

1. レディ薬局県内全 36 店舗、県立中央病院周囲の薬局 3 カ所に両立支援のちらしを掲示
2. 愛媛県立図書館・松山市立図書館に両立支援に関する資料を展示

〈 両立支援コーディネーター研修について 〉

令和元年度まで累計計 108 名受講済み

令和2年度の研修はコロナの影響で開催は未定。今後 Web での開催を検討しているが、詳細については本部からまだおりてきていない。

今後両立支援コーディネーター修了した方へ、現在の現場での活躍状況などについて、アンケートの実施を検討する。